

NACCS業務講習会資料 (平成27年度 保税事務研修)



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

● 輸出貨物業務（保税蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理【在来貨物の場合】
- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理【コンテナ貨物の場合】
- 保税蔵置場 搬出入業務の流れ
- BIC：搬入確認登録（輸出未通関）
- BID：搬入確認登録（輸出許可済）
- BIF：輸出貨物情報訂正
- 輸出貨物搬出業務について
- BOC：搬出確認登録（輸出許可済）
- バンニング情報登録の種類
- VAN：バンニング情報登録（コンテナ単位）
- VAE：バンニング情報登録（輸出管理番号単位）
- バンニング情報登録におけるコンテナ番号確認機能
- VAD：バンニング情報訂正
- VAC：バンニング情報取消

● 輸入貨物業務（保税蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【在来貨物の場合】
- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【コンテナ貨物の場合】
- BIA：搬入確認登録（保税運送貨物）
- BOA：搬出確認登録（保税運送貨物）
- SAI：輸入貨物情報訂正

● 共通業務について

- 保税蔵置場での主な搬出入業務一覧
- 保税蔵置場での取扱業務一覧
- 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧
- 見本持出業務一覧
- SHS（貨物取扱登録（改装・仕分け））
- 仕分け等業務可能な貨物について
- SHC（貨物情報取消）
- MHA（見本持出許可申請）
- MHC（見本持出取消）
- MHO（見本持出確認登録）

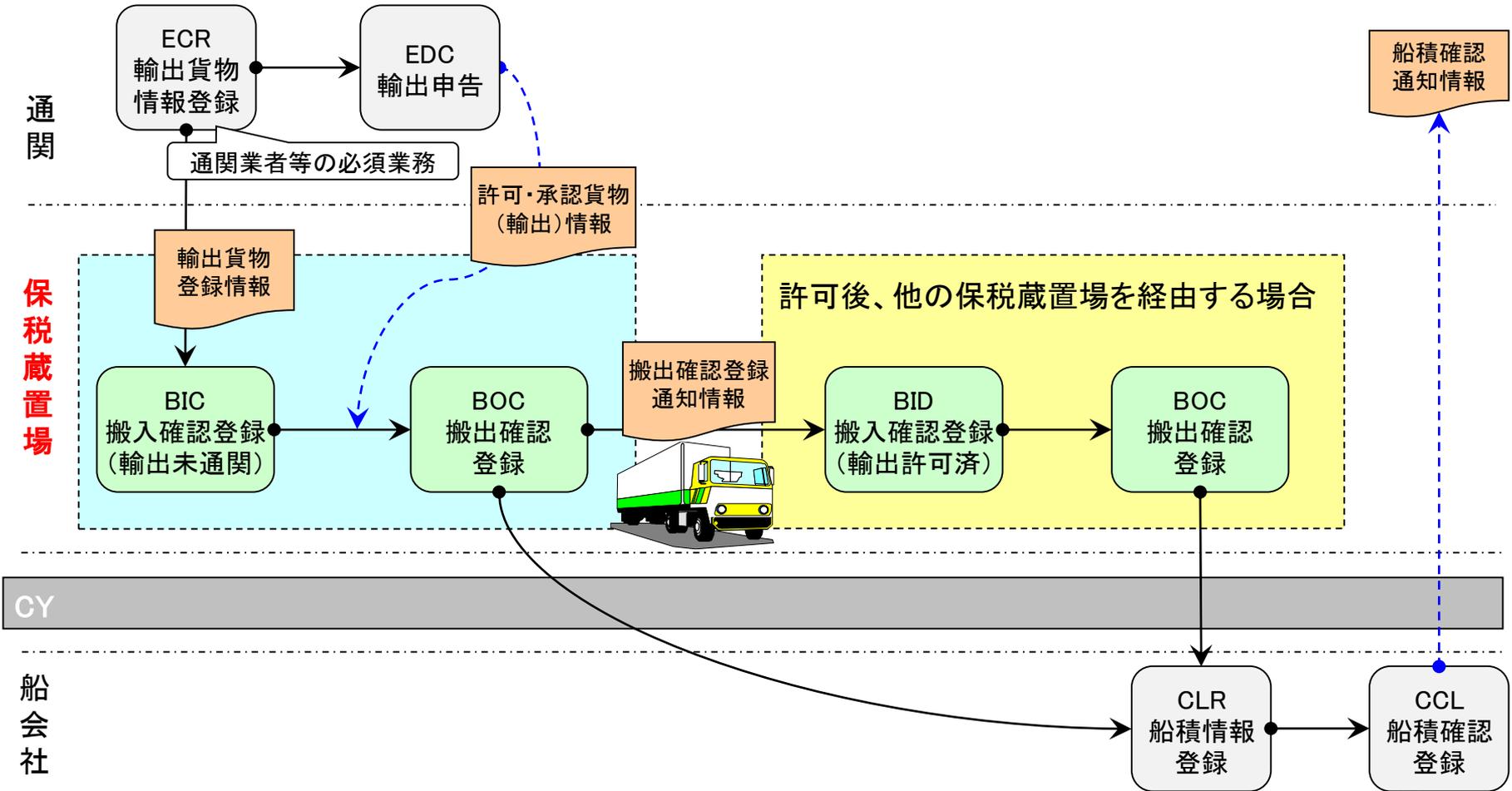
● 参考

- 貨物情報照会について
- コンテナ情報照会について
- その他情報照会業務について
- 管理統計資料について
- 講習会資料について

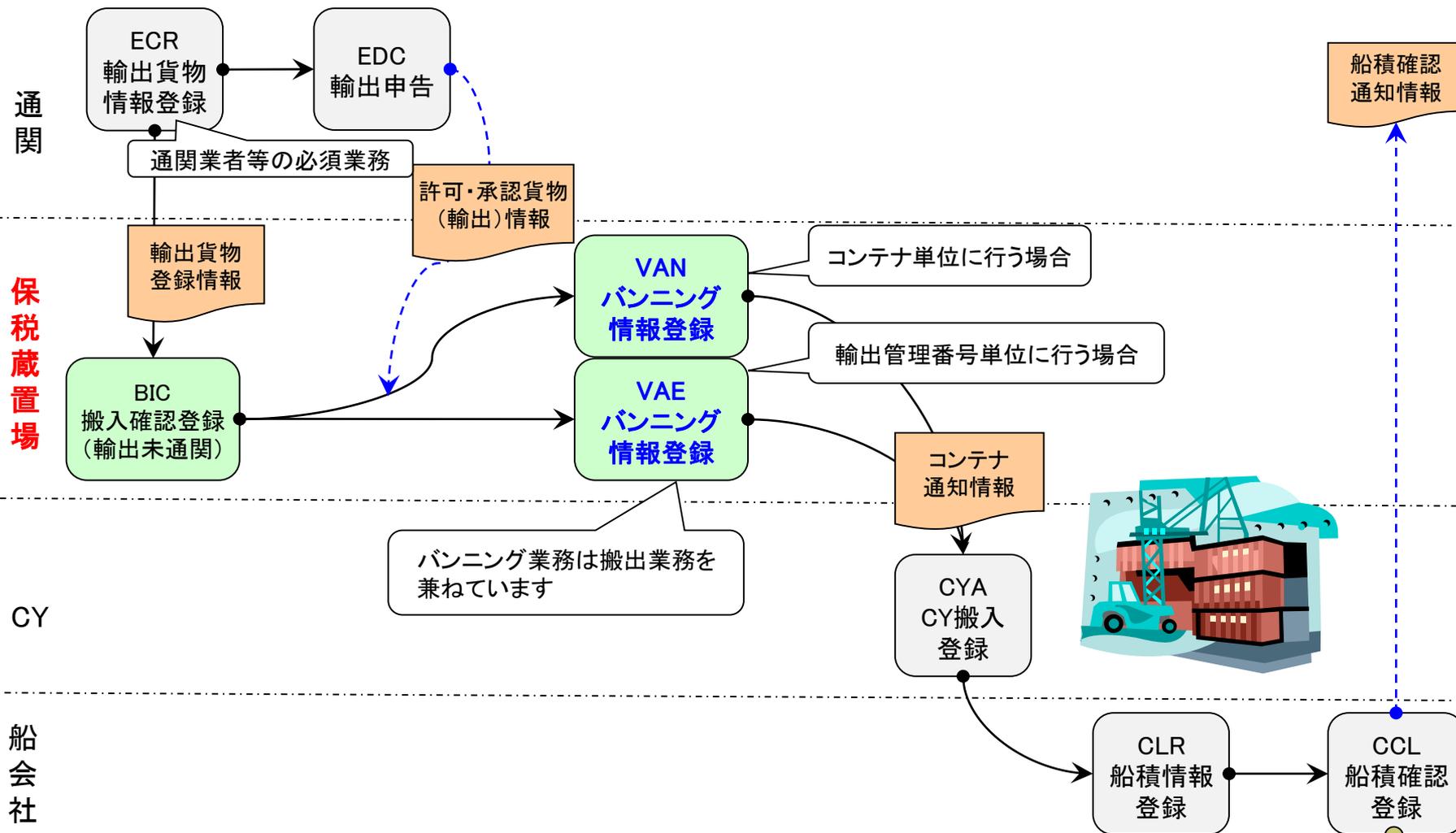
輸出貨物業務（保税蔵置場）

貨物情報を基本とした輸出貨物処理【在来貨物の場合】

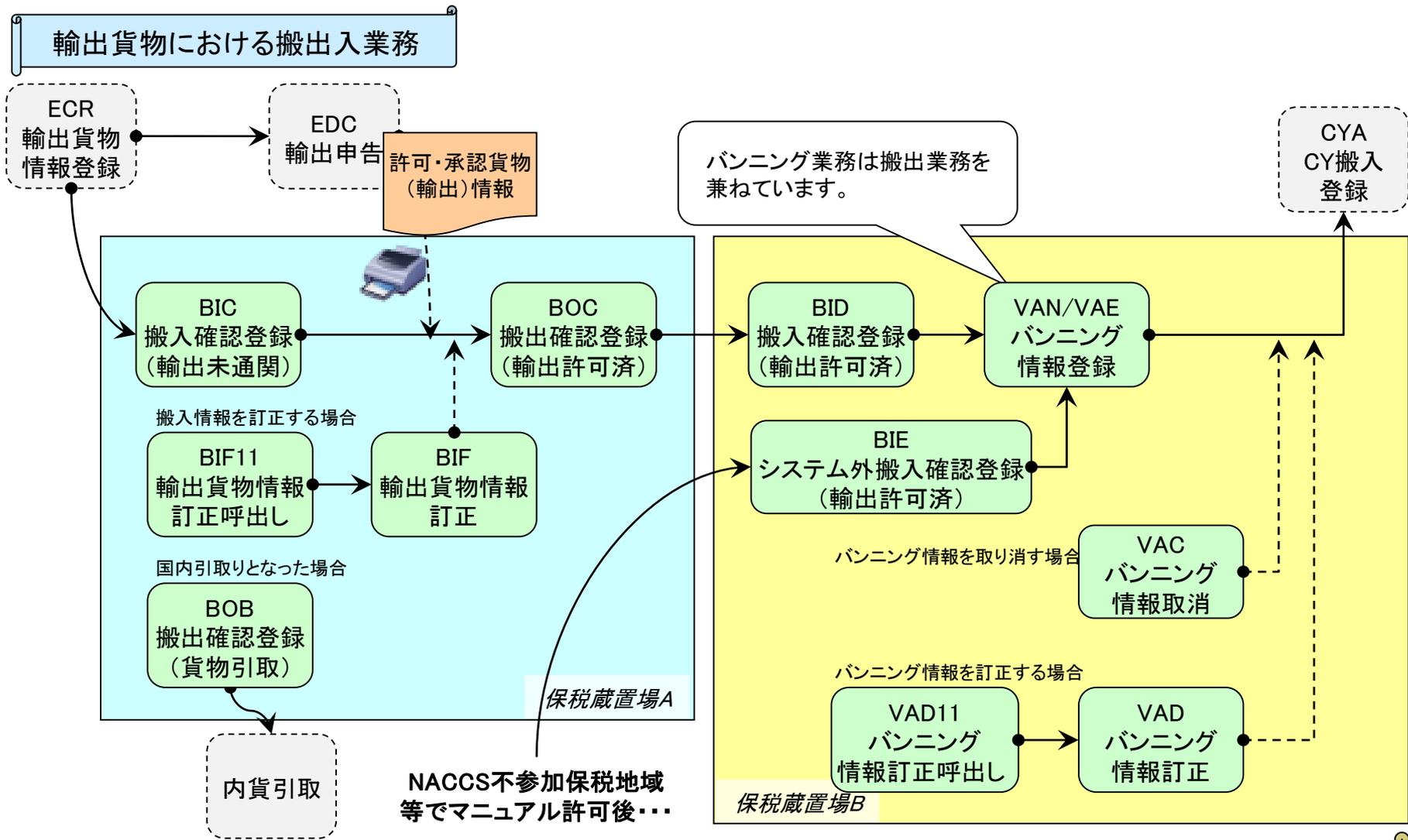
～ Sea-NACCSは、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～



- ・貨物を輸出しようとする場合には、通関業者等によるECR(輸出貨物情報登録)業務が必須です。
- ・保税蔵置場は、貨物の搬入確認登録(BIC,BID等)、及び搬出確認登録(BOC等)を行います。
- ・輸出貨物の情報は、CCL(船積確認登録)業務で、システム上完結します。



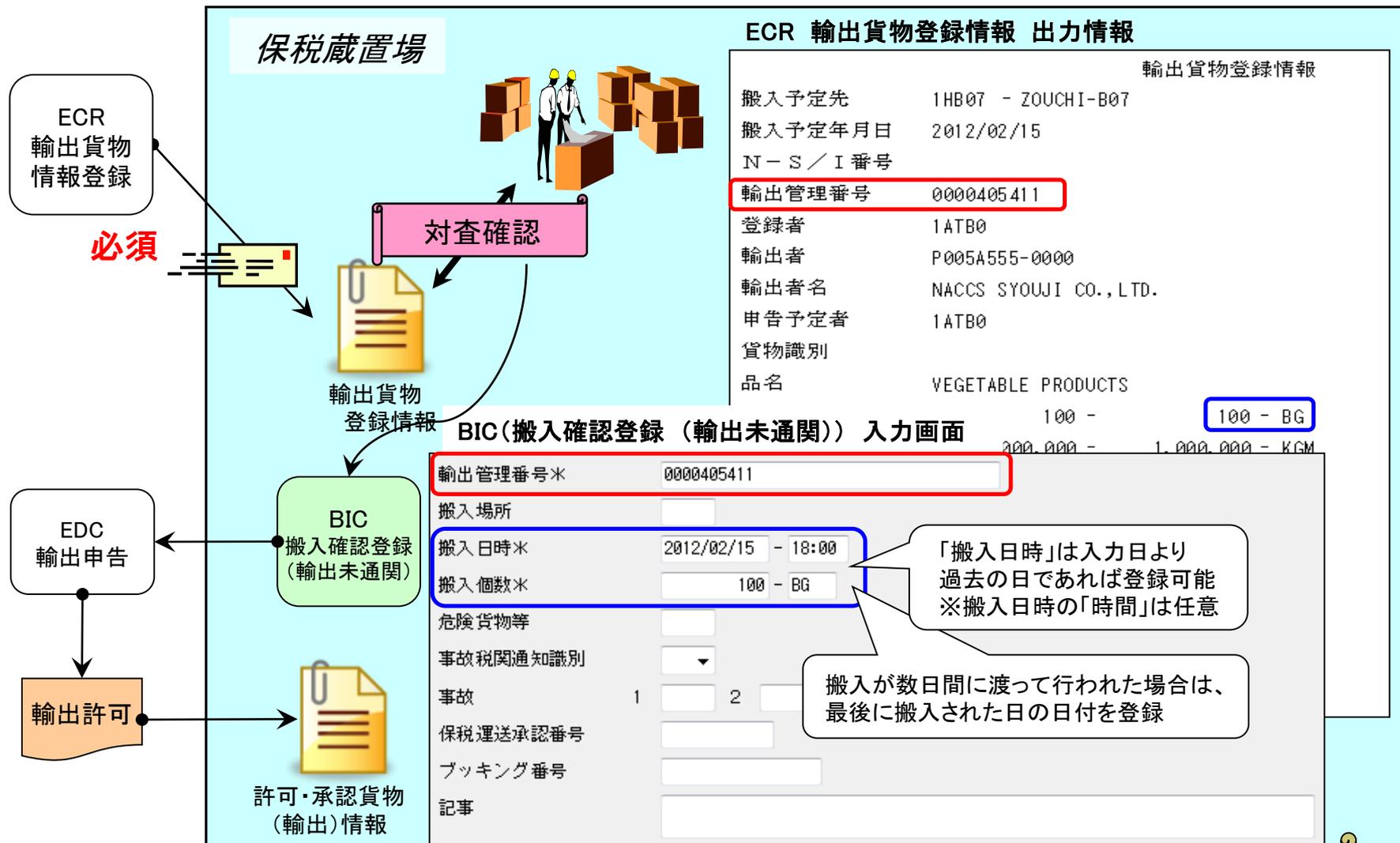
コンテナ貨物の場合、VAN/VAE(バンニング情報登録)業務は、輸出貨物とコンテナを関連付ける重要な業務であり、必須業務となります。



保税蔵置場の管理資料として、貨物の搬出あるいは輸出許可情報が登録された日の翌週に、「輸出貨物搬出入データ(G02)」が出力されます。

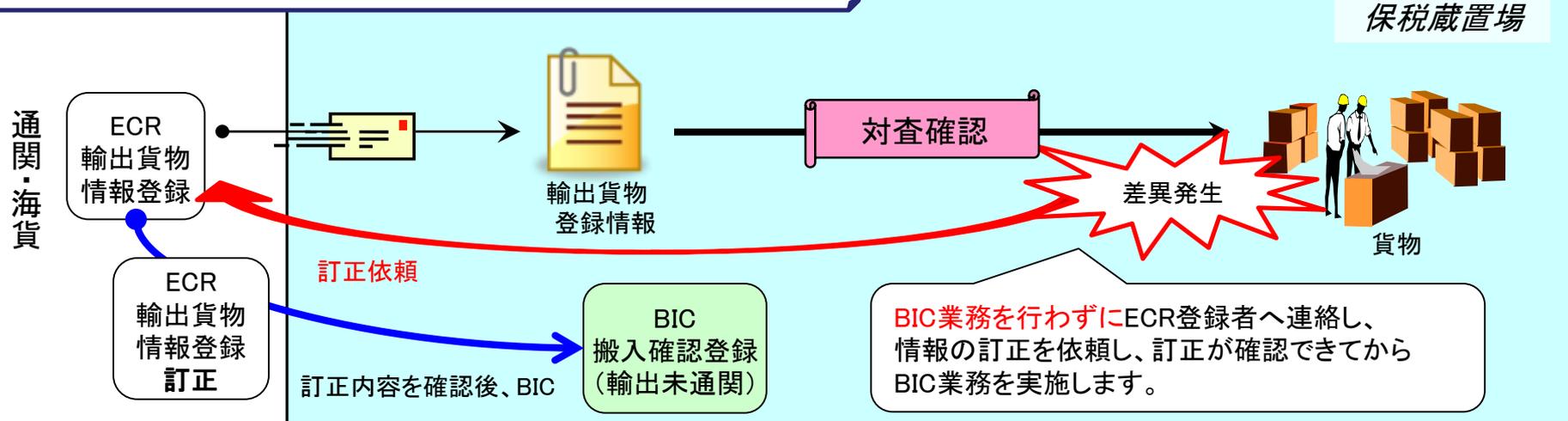
通関・海貨

通関

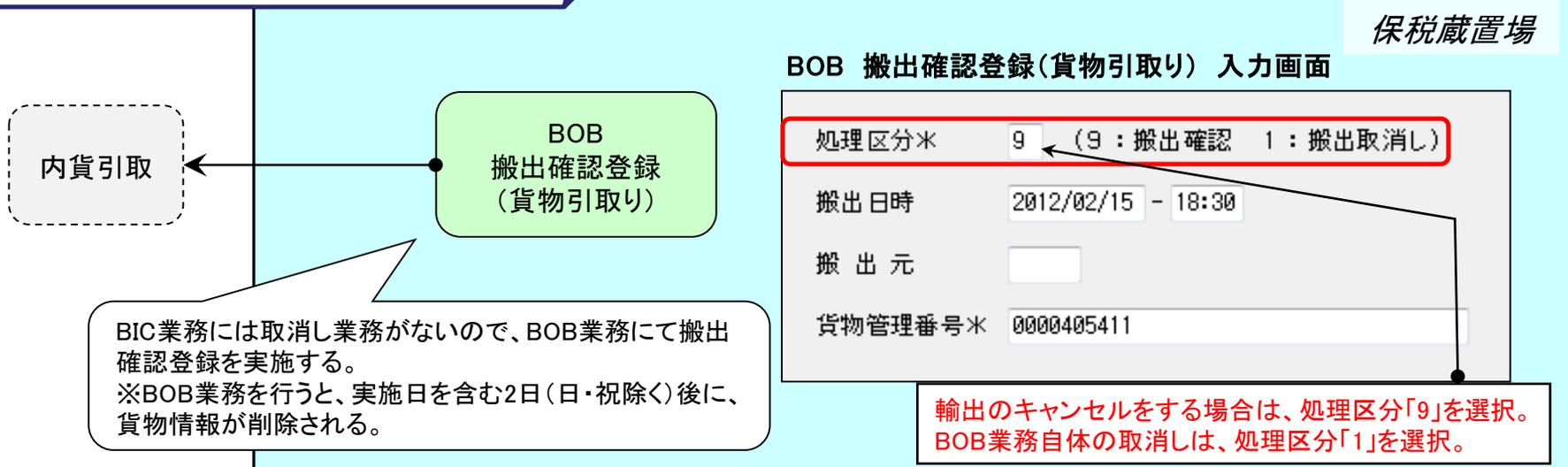


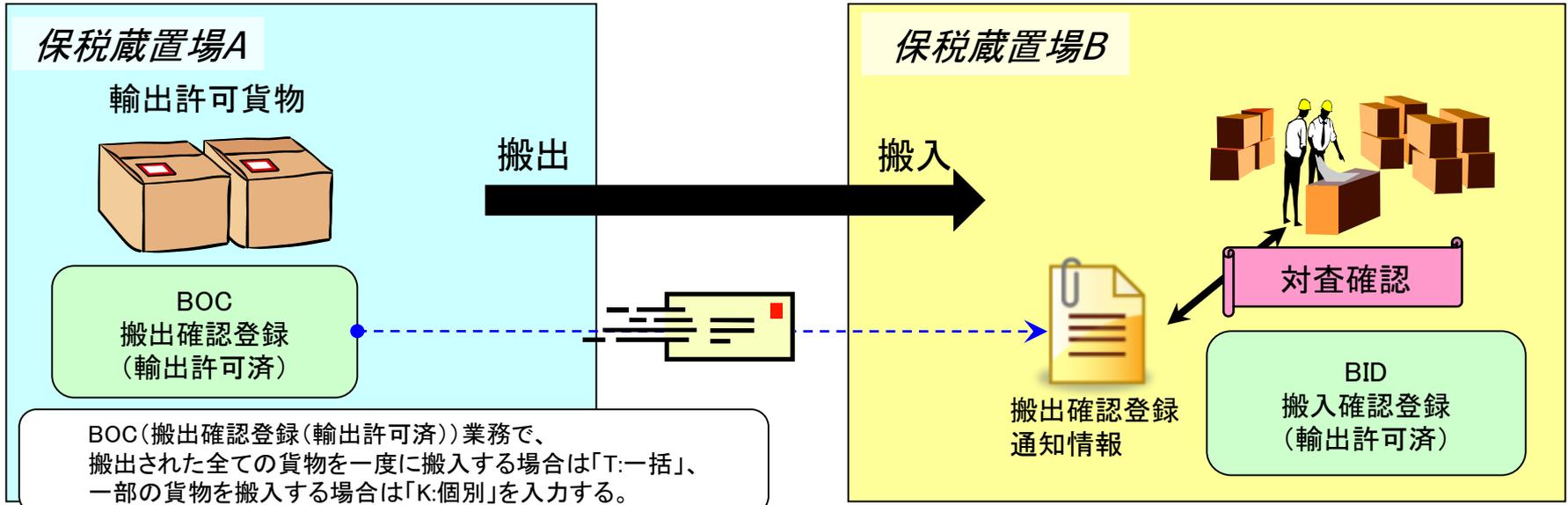
本業務の入力は、基本的に「輸出管理番号」、「搬入日時」、「搬入個数(単位)」の必須項目を入力するのみとなっています。

① ECR(輸出貨物登録情報)と搬入貨物の個数等が合致しなかった場合



② 搬入した貨物の輸出がキャンセルになった場合





BID(搬入確認登録 (輸出許可済)) 入力画面

「T:一括」の場合

処理単位* T (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01

「T:一括」の場合は
必須入力

「K:個別」の場合

処理単位* K (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01 0000405411 100

搬出元が、システム不参加蔵置場である場合には入力不要

搬入日時が輸出管理番号毎に異なる場合は、「K:個別」でBID業務を実施する。

「K:個別」の場合は
必須入力。

搬出番号は、以下2通りの欄部に表示されます。

- ① ICG(貨物情報照会)業務の指定情報「TRN:搬出入情報」の許可承認番号欄
- ② BOC業務実施の際、出力される帳票「搬出確認登録通知情報」の左側最上部

貨物を搬入した(BIC業務)後に
個数・重量・容積等の訂正があった場合！

BIF(輸出貨物情報訂正)入力画面

輸出管理番号 0000405411

訂正理由*

蔵置場所 1HB07

輸出者 P005A555-0000

輸出者名

申告予定者 1ATB0

品名* VEGETABLE PRODUCTS

総個数* 100 - BG 総重量* 1000.000 - KGM 総容積

船会社 SAKA 積出港 JPTYO 出港日 2012/02/20 船卸港 USLAX

入港日 2012/02/15 荷受形態* 51

社内整理番号

記事

最終仕向地*

搬入日時 2012/02/15 - 18:00

搬入個数* 100 搬入重量* 1000.000 搬入容積

記号番号* NACCS IN DIA

訂正理由	
1	個数・重量・容積の入力ミス
2	個数・重量・容積のカウントミス
3	税関に事故通知した貨物の訂正のため
4	品名に誤りがあるため
5	貨物の記号番号に誤りがあるため
6	その他の理由のため

BIF11(輸出貨物情報訂正呼出し)入力画面

輸出管理番号* 0000405411

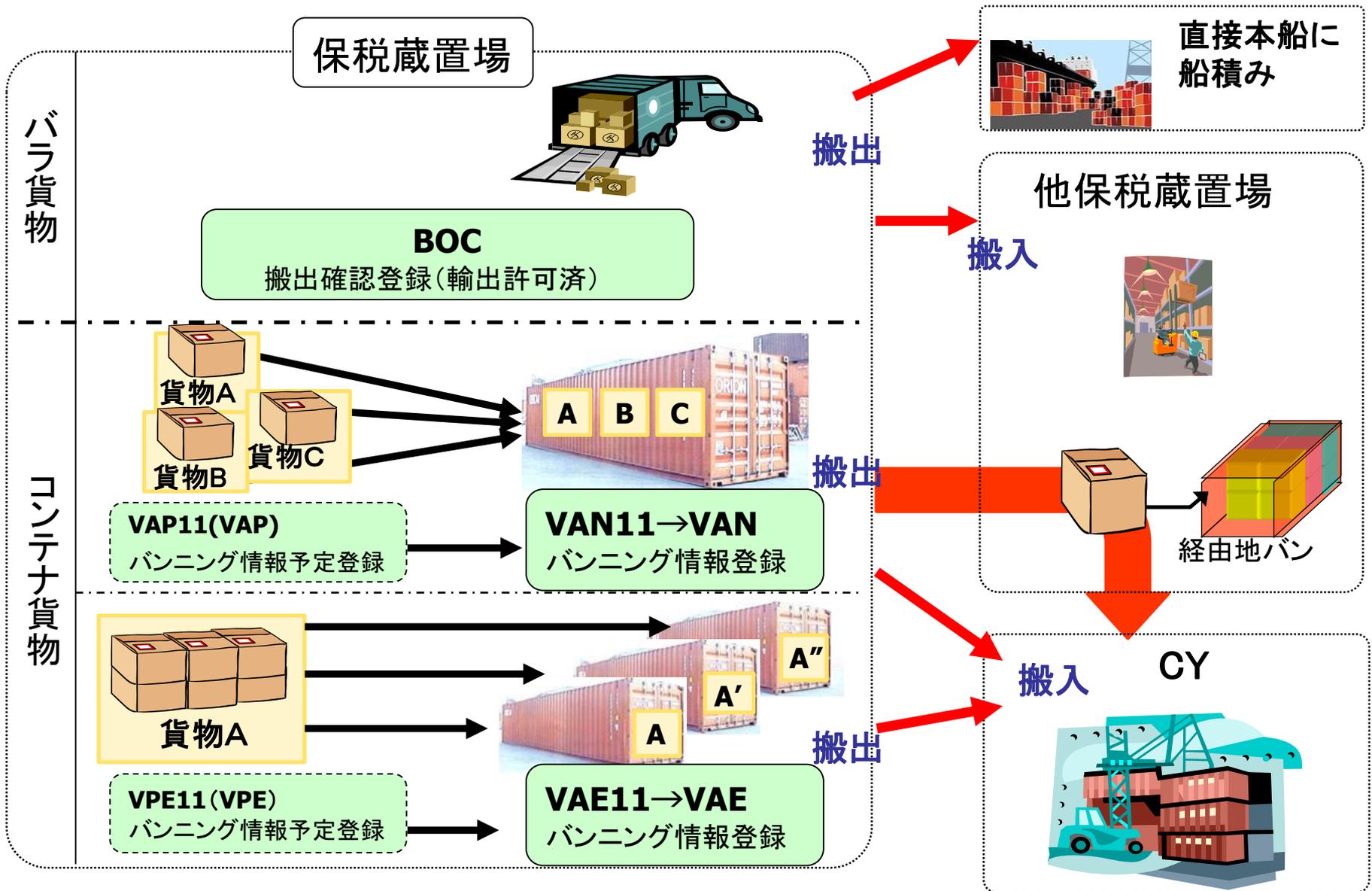
蔵置場所

入力者が当該貨物が蔵置されている保税蔵置場であれば、入力の省略が可能です。

個数訂正の場合は、「総個数」だけでなく「搬入個数」も訂正が必要です。訂正忘れにご注意ください。

本業務を行う際、既に通関業者がEDA(輸出申告事項登録)業務を行っている場合は、通関業者へ輸出申告情報の変更をお願いする必要があります。また、輸出許可後である場合は、許可後訂正が必要となります。

- ・BIF11業務で貨物情報呼び出してから訂正した方が、入力においてミスを防げます。
- ・本業務は、貨物が当該蔵置場に「蔵置中」の時に、実施が可能です。
- ・本業務送信の結果、「訂正保留」となった場合は、税関に保留解除の依頼をする必要があります。



BOC(搬出確認登録(輸出許可済)) 入力画面

処理区分*	9	(9: 搬出確認	1: 搬出取消し(一括)	3: 搬出取消し(個別))
搬出番号	<input type="text"/>	搬出日時	2012/02/16 - 14:00	
発送地	<input type="text"/>	搬入先	1HB00	
船会社	<input type="text"/>	通知先	<input type="text"/>	
運送会社等	<input type="text"/>			
輸出管理番号		発送個数	発送重量	発送容積
01	0000405411	100	1000.000	<input type="text"/>
02	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
05	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

BOC業務で、
全ての貨物の搬出を、一度に取り消す場
合は、処理区分「1:搬出取消し(一括)」、
一部の貨物の搬出を取り消す場合は、
「3:搬出取消し(個別)」を選択します。

- 『搬入先』は、貨物が次に搬入される**保税地域コード**を入力する。
- 搬出後、保税地域を経由せずに直接本船へ積む場合は『搬入先』に
船舶コード(コールサイン)を入力し、『船会社』欄に**船会社コード**を入力する。
(不明な場合は、『搬入先』と『船会社』の両方に『9999』を入力)
- 搬出後、航空貨物となる場合は、**航空保税地域コード(航空保税蔵置場)**を入力する。

本業務は、登録日より**60日間(日・祝含む)取消可能**ですが、次の保税蔵置場でBID(搬入確認登録)業務が行われた場合は取消できません。

バンニング情報登録には、以下の二通りがあります。

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

コンテナ番号: TCKU1234567

貨物管理番号:



詰

0000616601



0000616701



0000616501



VAN

バンニング情報登録
(コンテナ単位)

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

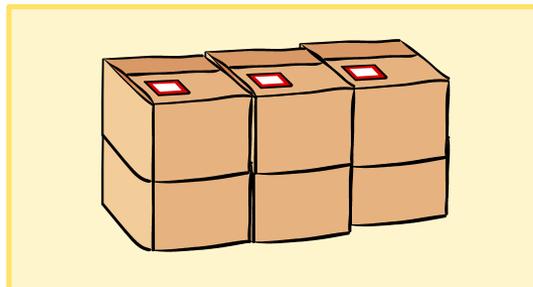
貨物管理番号: 0001357901

コンテナ番号:

ACSN0000001

ACSN0000002

ACSN0000003



詰

詰

詰



VAE

バンニング情報登録
(輸出管理番号単位)

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

VAN11(バンニング情報登録呼出(コンテナ単位))入力画面

コンテナ番号 TCKU1234567 仮コンテナ番号

バンニング場所 1HB00

社内整理番号

輸出管理番号等

001	0000616601	002	0000616701
003	0000616501	004	<input type="text"/>

バンニング予定情報が登録されている場合は、仮コンテナ番号を入力することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

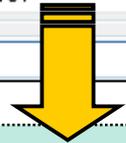
長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ



VAN(バンニング情報登録(コンテナ単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - : -

コンテナ番号* TCKU1234567

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 -

シール番号欄は必須項目です。コンテナがフラットラックコンテナの場合は、「NIL」と入力する。

共通部 繰返部

001 輸出管理番号等 0000616601
バンニング個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積

002 輸出管理番号等 0000616701
バンニング個数 2 - CS 重量 100.000 - KGM 容積

003 輸出管理番号等 0000616501
バンニング個数 1 - CS 重量 50.000 - KGM 容積

1本のコンテナに輸出管理番号100件まで登録可能

- ・搬入先コードは必須入力。搬入先の保税地域コード、または直接本船に船積みする場合は、積載予定船舶コードを入力します。
- ・経由地バンニング時は、経由地コードを入力し、シール番号は入力できません。

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

VAE11(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)呼出)入力画面

輸出管理番号等 0001357901

バンニング場所

社内整理番号

バンニング予定情報呼出し識別

コンテナ番号

01 ACSN0000001 02 ACSN0000002 03 ACSN0000003

04 05 06

バンニング予定情報が登録されている場合は、当該識別「1」を選択することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オーパントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

VAE(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位))入力画面

共通部 繰返部

搬入先コード* 1CB04

積載予定船舶* 9999 航海番号* 100 船会社* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時* 2012/02/16 - _:_

輸出管理番号等* 0001357901

バンニング場所 -

ブッキング番号(貨物単位)* BOOKING200

共通部 **繰返部**

1 / 3

01 コンテナ番号 ACSN0000001

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL01 2 3

4 5 6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング個数 16 - CS 重量 900.000 - KGM 容積

02 コンテナ番号 ACSN0000002

・本業務一回につき、30本までバンニング登録することができます。
30本を超過する場合は、再度、同様の手順で本業務を行って下さい。

- コンテナ番号のチェックデジット確認機能 (H24.7.26 機能改善)
 - バンニング情報登録業務 (VAN/VAE) におけるコンテナ番号誤入力防止のため、NACCSパッケージソフトにはコンテナ番号のチェックデジットによる確認機能が備わっています*1*2。
 - バンニング情報登録業務の実施時にはこのチェックデジットによる確認が行われ、誤入力の可能性がある場合には [コンテナ番号確認] ダイアログが表示されますので、番号を訂正する場合には [いいえ(N)] をクリックし入力訂正を行って下さい。



- *1 ISOコンテナ番号(先頭4桁が英字)が対象。
- *2 ISO6346に規定されたチェックデジット

コンテナ番号が複数ある場合には、欄番号と一緒にエラーのコンテナ番号全てをリストで表示します。

ISOコンテナの番号におけるチェックデジット：

ISOコンテナの番号は、英字4字+シリアルナンバー6桁+**チェックデジット**※1桁で構成されています。この番号体系により、コンテナ番号の正確性を確認できるようになっています。

(※**チェックデジット**：符号の入力誤りなどを検出するために元の符号に付加される数字のこと。)

VAD11(バンニング情報訂正呼出し) 入力画面

(5:コンテナ情報の訂正
4:貨物情報の訂正
3:バンニング個数、重量、容積の訂正)

処理区分*

輸出管理番号等

コンテナ番号

バンニング場所

複数コンテナにバンニング登録した場合、訂正したいコンテナ番号を入力する。
※貨物情報や個数等の訂正する際は、任意で1本のコンテナ番号を入力する。

残個数がないときは、残個数「0(ゼロ)」と入力し、重量と容積は空白とする。
残個数があるときは、残個数、重量、容積を入力する。
※こちらの項目についてのみ、CY搬入後でも訂正が可能。

VAD(バンニング情報訂正)入力画面

処理区分* (5:コンテナ情報の訂正 4:貨物情報の訂正 3:バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

コンテナ番号

バンニング場所

積出港

コンテナ自重 -

シール番号

1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>

コンテナサイズ コンテナタイプ

ブッキング番号 (コンテナ)

ブッキング番号 (貨物)

バンニング個数 重量 容積

残個数 重量 容積

区分5:コンテナ情報

区分4:貨物情報

区分3:バンニング
個数、重量、容積

- ・VAD11業務で登録情報を呼び出し、本業務で必要箇所を上書き訂正します。
- ・CLR(船積情報登録)業務後は、本業務は出来ません。

VAC(バンニング情報取消) 入力画面

コンテナ番号 TSCU123456
 輸出管理番号等
 バンニング場所 -

コンテナ番号
 輸出管理番号等 0000406551
 バンニング場所 -

コンテナ番号 TSCU123456
 輸出管理番号等 0000406551
 バンニング場所 -

【バンニング情報取消の入力パターン】

	コンテナ番号単位の一括取消し※	輸出管理番号単位の一括取消し※	輸出管理番号等の取消し	コンテナ番号の取消し
1 コンテナ番号	○	×	○	○
2 輸出管理番号等	×	○	○	○
3 バンニング場所コード	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)
4 バンニング場所地域名	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)

※輸出管理番号とコンテナ番号とが1対1の時は、輸出管理番号とコンテナ番号のどちらかを入力する。

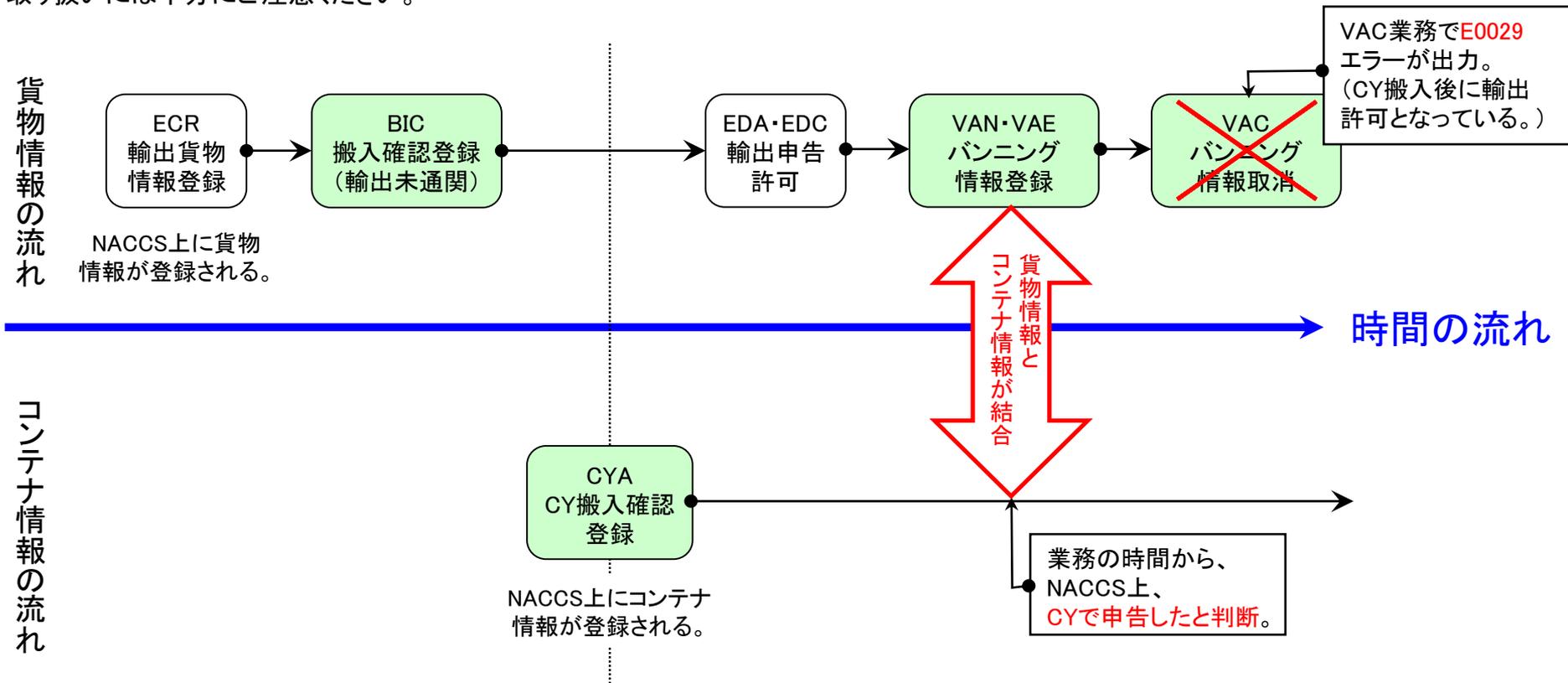
- : 必須項目
- △: 任意項目
- ×: 入力不可項目

・コンテナ番号を誤って入力した場合は本業務を使用してコンテナ番号を取り消し、正しいコンテナ番号で、再度VAN業務またはVAE業務をする必要があります

・既にCY搬入済であっても、CY輸出申告前、又は船積登録前であれば、本業務は可能です。
 ただし、コンテナ番号単位及び輸出管理番号単位での「一括取消し」はできません。
 またCY輸出申告後は、税関で申告撤回をする必要があります。

本業務を行う時は、CYに必ず連絡した上で行うようにしてください。

下記の流れでは、システム上、**CYで申告したと判断される**ため、コンテナ番号の入力ミス等におけるVAC業務は出来ませんので、取り扱いには十分にご注意ください。

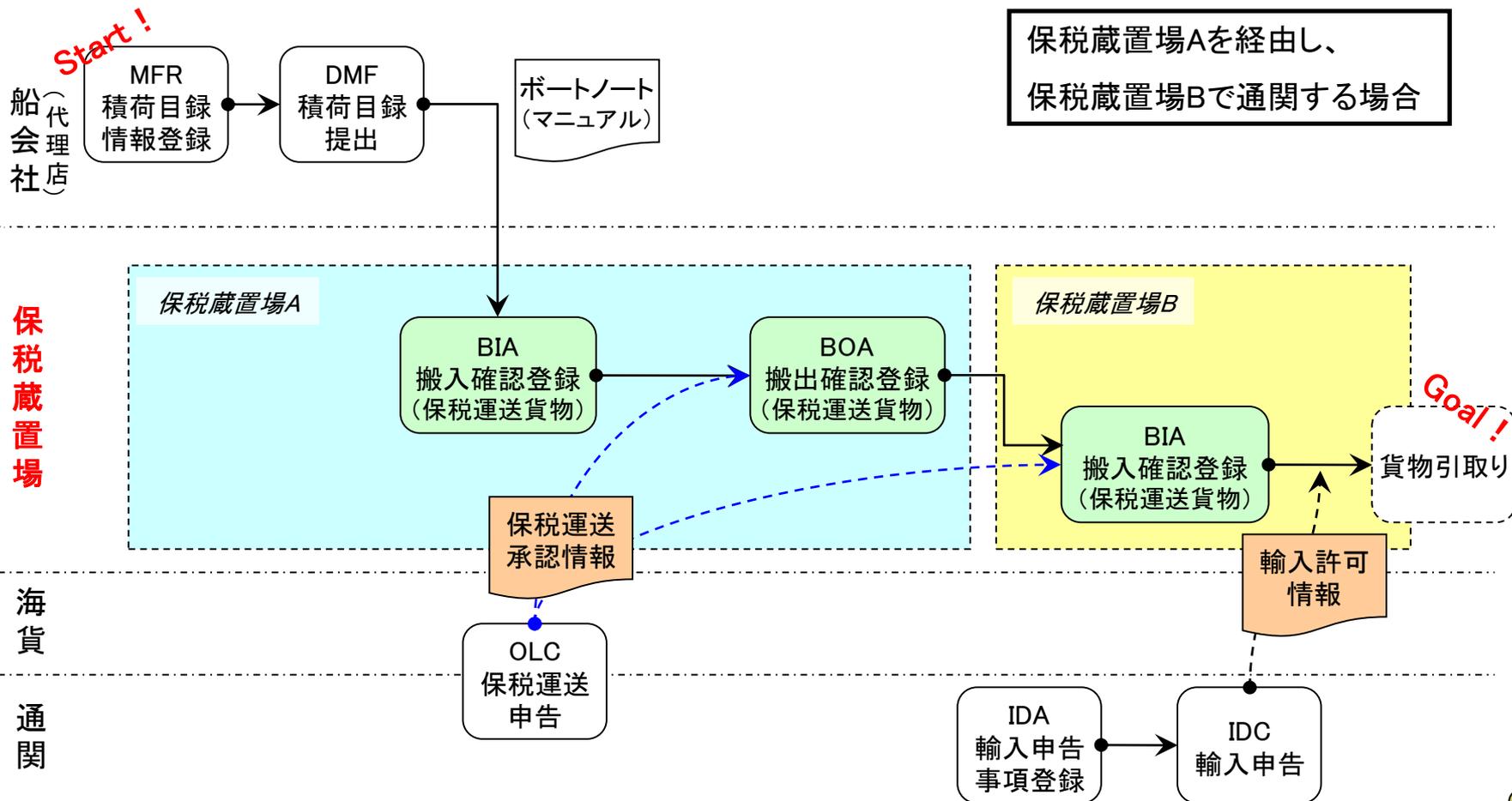


対処方法としては、「①輸出申告の撤回をしてCYO業務を行い、再度ECR業務からやり直す」、または「②誤ったコンテナのまま後続業務を行い、マニュアルで処理を行う」といった方法がありますが、いずれも税関の指示を受けてください。またシステム上は、輸出申告・許可前に通関蔵置場から搬出されて、CYに貨物が搬入されている、いわゆる「空通関」の状態ですので、税関から指導を受けることもあります。

輸入貨物業務（保税蔵置場）

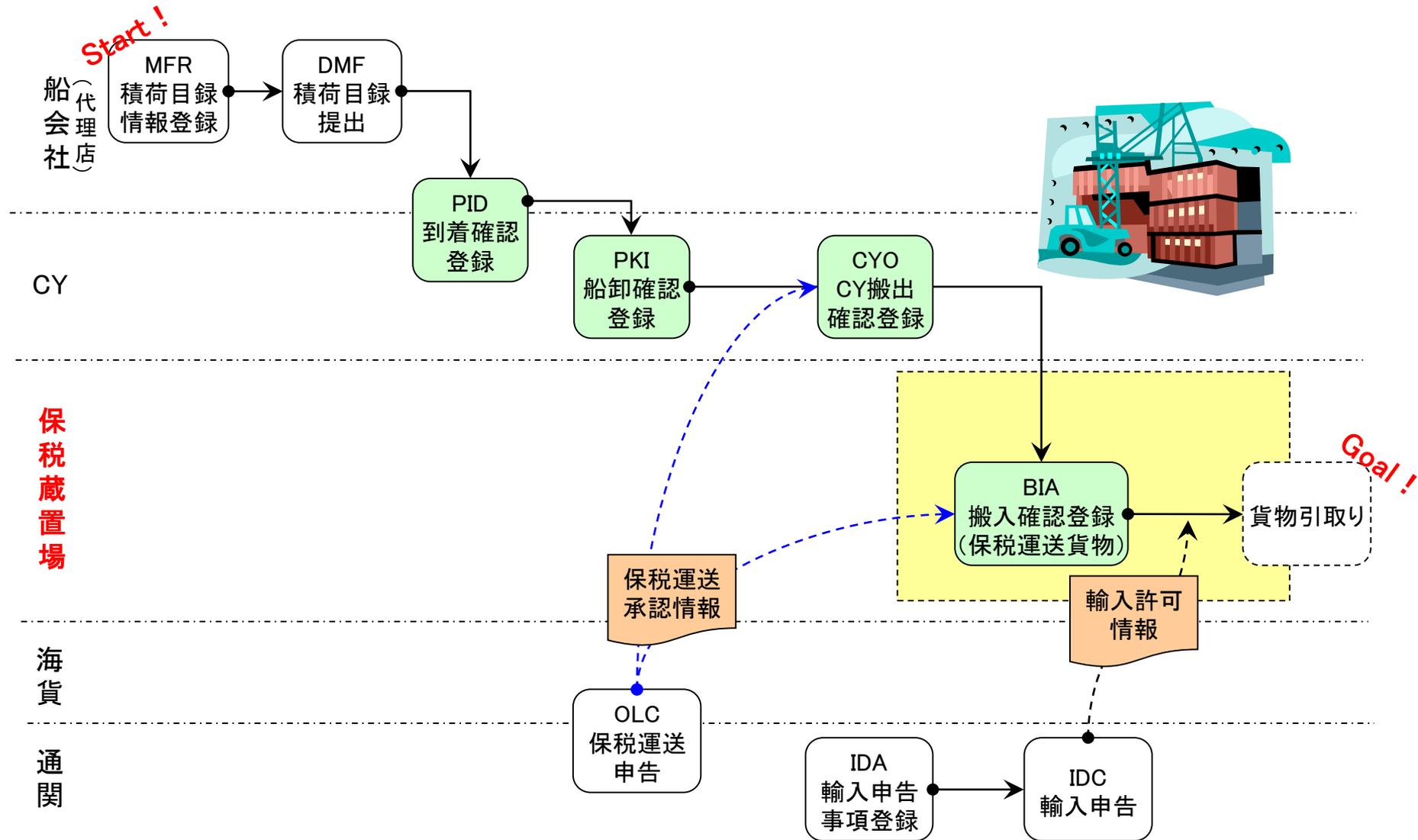
貨物情報を基本とした輸入貨物処理【在来貨物の場合】

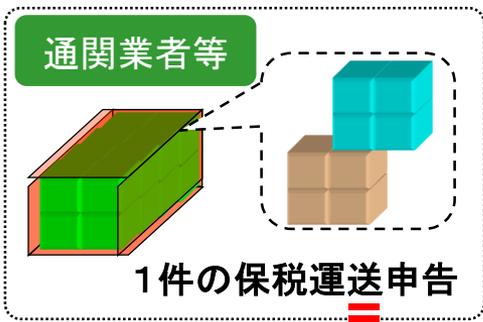
～ Sea-NACCSは、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～



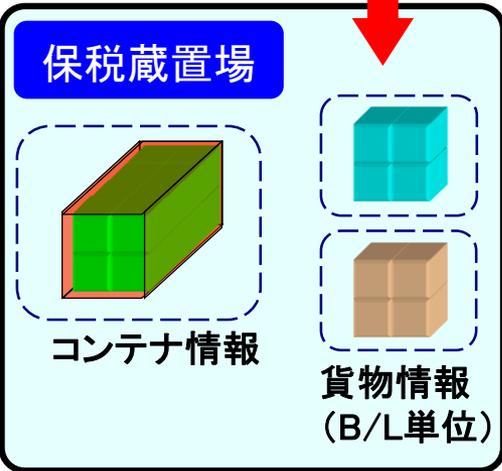
輸入通関する保税蔵置場に貨物を搬入する時は、保税蔵置場のNACCS参加・不参加にかかわらず、貨物の搬入(または到着)情報をシステム登録する必要があります。(※NACCS参加蔵置場はBIA(搬入確認登録)業務を行いません。またNACCS不参加蔵置場は、書類を税関窓口に持参し、税関によるSAT(保税運送到着確認)業務を依頼します。)

貨物情報を基本とした輸入貨物処理【コンテナ貨物の場合】





BIA



BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - __:__ 搬入識別* A ← 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着個数 - 重量 - 容積 - 危険貨物

記号番号 通知識別

事故 1 2 3 4 5

記事

選択する「搬入識別」により、入力必須項目あるいは入力不可項目が異なります。

搬入識別が「C」、及び「D」の場合は必須入力

選択する「搬入識別」により、入力する番号が異なります。

搬入識別	
【一回に登録する件数や事故通知の有無などによって識別を使い分けます。】	
A	保税運送申告番号で登録するとき (一度に登録できるのは1申告)
B	コンテナ番号で登録するとき (一度に登録できるのは1コンテナ)
C	B/L番号で登録するとき (一度に登録できるのはB/L20件まで)
D	ポートノート搬入貨物または揚地詮議有りの貨物のとき (B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
E	コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき (輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務で貨物情報を呼び出した上で、SAI業務「輸入貨物訂正」を行います。(注:一部SAI業務では訂正できない項目もあります。)
なお、BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

- ・OLC業務にて保税運送申告された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。
- ・本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)

【搬入確認登録(BIA)業務の入力パターン】

保税運送貨物で
事故あり

バースからの
保税運送貨物

	保税運送申告番号単位	コンテナ番号単位	B/L番号単位	ポートノート、揚地詮議有貨物	コンテナ検査
1 搬入年月日(システム日より過去1年)	○	○	○	○	○
2 搬入時刻	△	△	△	△	△
3 搬入識別	A	B	C	D	E
4 搬入確認蔵置場(入力者と異なる場合)	△	△	△	△	△
5 搬入確認する番号	○(保税運送申告番号)	○(コンテナ番号)	○(B/L番号)	○(B/L番号)	○(輸入申告番号)
6 到着個数、個数単位コード	×	×	○	○	×
7 重量、重量単位コード	×	×	×	○	×
8 容積、容積単位コード	×	×	×	○	×
9 危険貨物等コード	×	×	△	△	×
10 記号番号	×	×	△	△	×
11 事故税関通知識別コード、事故コード	×	×	△	△	×
12 記事	×	×	△	△	×

○:必須項目 △:任意項目 ×:入力不可

入力例<保税運送申告番号単位「A」>

搬入日時* 2011/01/21 - 二:二 搬入識別* A 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 15000057210

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<B/L番号単位「C」>

搬入日時* 2011/01/21 - 二:二 搬入識別* C 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH0123456789

到着個数 101 - CT 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 OVERR 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(個数1カートオーバー)

入力例<コンテナ検査「E」>

搬入日時* 2011/01/21 - 二:二 搬入識別* E 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 11387934450

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<コンテナ番号単位「B」>

搬入日時* 2011/01/21 - 二:二 搬入識別* B 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0LCUT987650

到着個数 [] - 重量 [] - 容積 [] - 危険貨物 []

記号番号 [] 通知識別 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 []

記事 []

入力例<ポートノート、揚地詮議有貨物「D」>

搬入日時* 2011/01/21 - 二:二 搬入識別* D 搬入蔵置場 [] /4

1 番号 0TH09876543210

到着個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積 1000.000 - MTQ 危険貨物 []

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 CVTRN 2 [] 3 [] 4 []

記事 事故あり(外装破れ)

※揚地詮議有貨物
貨物の数量が揚地(本邦輸入地)の保税蔵置場に
搬入の際に確定する貨物のこと。

【注意】BIA: 搬入確認登録(保税運送貨物)

搬入確認時に事故(不足・破損等があった場合)のBIA業務

「搬入識別」
CまたはDの場合のみ
事故通知が可能

BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時* 2012/02/17 - __:__ 搬入識別* C 搬入蔵置場

1 番号 SAKA1234567890

到着個数 998 - BG 重量 容積 危険貨物

記号番号 通知識別 Z

事故 1 SHORT 2 WETTO 3 4 5

記事

保税蔵置場

不足!
破損!



事故通知...

事故貨物確認情報



税関で事故確認

税関に事故通知

税関(保税部門)



「通知識別」
税関への通知を要する
事故か否かを入力する
要する :Z
要しない:M

「事故」
OVERR(数量超過)
DENTE(へこみ)
BROKN(破損)など
(NACCS掲示板の
NACCS業務関連コード
「事故種別コード」参照)

- ・事故通知が必要な場合、搬入識別にA,B,及びEは選択できません。(CまたはDのみ事故通知が可能)
- ・本業務で税関に事故通知(Z)をした場合、貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)業務が行われるまで、後続業務(輸入申告・保税運送申告等)ができません。

BOA(搬出確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

処理区分*	9 (9: 搬出確認 1: 搬出取消し)
搬出日時	2012/02/17 - __: __
発送地	
貨物管理番号	1 SAKA1234567890 2
	3 4
	5 6
	7 8
	9 10
	11 12
	13 14
	15 16
	17 18
	19 20

「搬出日時」
全量搬出したことを確認してから登録すること。
搬出日が複数日にまたがった場合、最後に全量搬出された日を搬出日時とする。

「発送地」
発送地が入力者の管理する保税地域である場合のみ省略可能

「貨物管理番号」
B/L番号または輸出管理番号を入力
1回のBOA業務で20件まで登録可能

本業務の取消しは、
処理区分「1: 搬出取消し」にて行う。
貨物管理番号単位での取消しが可能です。
但し、到着地保税蔵置場で搬入がされている場合は、取消が出来なくなります。

コンテナ詰めされていないバラ貨物を保税運送申告後に搬出する場合は、本業務を行います。
(コンテナ詰めされている貨物をCYから搬出する場合は、CYO(CY搬出確認登録)業務になります。)

SAI11(輸入貨物情報訂正呼出し)入力画面

B/L番号* OTH01234567890

必ずSAI11業務にて情報呼び出します。

保税蔵置場

記号番号のタイプミス!



SAI(輸入貨物情報訂正) 入力画面

共通部 繰返部

B/L番号* OTH01234567890

訂正理由* 6

保税運送承認番号 NACCS100-1

搬入日時 2012/02/17 - __: __

船舶 9999 - ZEIKAN MARU

船卸港 JPTYO 入港日* 2012/02/17 船積港 CNSHA

最終仕向地 JPTYO - TOKYO - TOKYO

荷送人 _____

名称 NACCS CHINA CO., LTD.

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

- 1: 個数・重量・容積の入力ミスのため
- 2: 個数・重量・容積のカウントミスのため
- 3: 税関に事故を通知した(事故税関通知識別: Zを入力した) 貨物に関する訂正のため
- 4: 品名に誤りがあるため
- 5: 貨物の記号番号に誤りがあるため
- 6: その他の理由のため

SAI画面で訂正箇所を上書きします。

記号番号 NACCS IN DIA
MADE IN CHINA

個数* 200 - BG 重量* 2000.000 - KGM

ネット重量 - 容積 -

原産地

・本業務を登録した結果、帳票(SAS0760)の「訂正保留表示」欄が「P(訂正保留)」となった場合は、税関でのCAR(訂正保留解除)が行われるまで後続業務ができません。

・本業務で訂正できない項目があります。(次ページ参照)

B/L番号 OTH01234567890

訂正保留表示 P 訂正実施者 1AHB7 訂正理由 6

(訂正前)

保税運送承認番号 NACCS100-1

■ SAI業務では訂正できない項目があります。

SAI業務では訂正できない項目例

- ・仮陸揚識別 / 仮陸揚事由コード / 仮陸揚期間 (税関のみ訂正が可能)
- ・船舶コード / 積載船名 / 船卸港コード (但し、システム外搬入確認により登録された場合はSAI業務により訂正が可能)

■ SAI業務を実施する際には、通関などの他利用者の作業が進んでいないか、注意が必要です。

 **「輸入申告事項登録(IDA)」業務が既に行われている場合**、SAI業務を行っても輸入申告情報の下記の項目は訂正されません。貨物情報と輸入申告情報の内容を一致させるため、別途通関業者が輸入申告情報の訂正も行う必要があります。

輸入申告情報の訂正も必要な項目

- ・船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コード
- ・荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号
- ・個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号

共通業務について

保税蔵置場での主な搬出入業務一覧

	業務区分	貨物の種類	業務コード	許可状況等	搬出入時のNACCSの貨物情報の有無	取消業務	備考欄
輸出搬出入業務	搬入	バラ貨物	BIC	輸出未許可貨物 (特定輸出申告済貨物等含む)又は未通関積戻貨物	NACCSに貨物情報有り	取消不可	搬入後の貨物情報の訂正業務: BIF
			BID	輸出許可貨物			
			BIE		NACCSに貨物情報無し	BIX	
			BOC				
	搬出	コンテナ貨物	VAN・VAE		NACCSに貨物情報有り	VAC	VAN・VAE後の訂正業務: VAD

	業務区分	貨物の種類	業務コード	許可状況等	搬出入時のNACCSの貨物情報の有無	取消業務	備考欄
輸入搬出入業務	搬入	バラ貨物	BIA	保税運送貨物等	NACCSに貨物情報有り	取消不可	搬入後の貨物情報の訂正業務: SAI
			BIB		NACCSに貨物情報無し	BIX	
	搬出		BOA			NACCSに貨物情報有り	BOA(処理区分: 取消)

	登録業務	取消し業務		蔵置場での確認業務		対象貨物
		業務名	期間	業務名	期間	
内容点検	SHN	SHC	登録日含め 3日以内	CHI	登録日含め 3日以内 ※CHIの登録を 行わなくても後 続業務には影 響ありません。	輸出入貨物 (積戻し含む)
改装・仕分け	SHS					
仕合せ	CHU					
取扱許可申請	CHD		許可前			MHO
見本持出許可申請	MHA	MHC	許可前			

<p>SHN 貨物取扱登録 (内容点検)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」「その他の手入れ」を行う場合に、本業務により必要事項を登録します。</p>
<p>SHS 貨物取扱登録 (改装・仕分け)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「改装」、「仕分け」を行う場合に、本業務により必要事項を登録します。</p>
<p>CHU 貨物取扱登録 (仕合せ)</p>	<p>保税地域に蔵置されている輸出貨物(積戻貨物を含む)について、複数の輸出管理番号単位の貨物を1つの輸出管理番号単位の貨物に仕合せする場合は、本業務により必要事項を登録します。 これにより取扱場所へ貨物取扱情報が通知されます。 なお、本業務を行った場合は、以降の業務は仕合せした単位で行うこととなります。</p>
<p>CHJ 貨物情報仕分</p>	<p>システム参加保税地域等に蔵置されているコンテナ詰輸入貨物について、B/L番号単位と異なる単位で輸入申告等を行うため、貨物情報を複数の情報に仕分けする場合は本業務により必要事項を登録します。 「通常情報仕分け」「先行到着分情報仕分け」「分散蔵置情報仕分け」の3種類の情報仕分けが可能です。 なお、本業務を行った場合は、以降の業務は仕分けた単位で行うこととなります。 また、情報仕分けをした旨を取り消す場合も本業務で行います。</p>

<p>SHC 貨物取扱取消</p>	<p>貨物取扱登録(SHN・SHS・CHU)、貨物取扱許可申請(CHD)を取り消す場合は、本業務によりその旨を登録します。</p>
<p>CHD 貨物取扱登録 (許可申請)</p>	<p>保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、関税法第40条第2項に基づく「見本の展示」、「簡単な加工」及び「その他これらに類する行為」を行う場合は、本業務により税関に対し許可申請を行います。</p> <p>システムは申請を「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定します。「簡易審査扱い」に選定された申請は即時に許可となり、「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行う「貨物取扱許可申請審査終了(CHE)」業務により許可となります。</p>
<p>CHI 貨物取扱結果通知</p>	<p>保税地域は貨物取扱登録(SHN・SHS・CHU)、貨物取扱許可申請(CHD)業務で登録された取扱いについて取扱いが終了した旨を通知します。</p> <p>また、当該通知を取り消す場合も本業務で行います。</p> <p>なお、本業務は貨物取扱登録または貨物取扱許可申請を行った利用者への通知が必要な場合のみ入力を行います。</p>

取扱業務は、CHI業務を除き、保税管理者以外に通関・海貨・NVOCC業種でも実施可能です。

SHS(貨物取扱登録(改装・仕分け))入力画面 <共通部>

共通部 繰返部

許可申請番号

仕分数* 2 (改装: 1 仕分け: 2~20)

取扱場所

取扱開始日時* 2012/02/20 - 14:00

取扱終了日時* 2012/02/20 - 15:00

仕分前貨物管理番号* SAKA1234567890

記事

CHD(貨物取扱許可)を受けた行為(見本の展示、簡単な加工その他これらに類する行為で税関長の許可を受けたもの)で、「改装」及び「仕分け」を行う場合は、貨物取扱許可申請番号を入力
※ただしシステムで申請した場合のみ

「時刻」については、取扱場所を管理する保税業者であれば任意入力
それ以外の通関業者等であれば必須入力

仕分けを行う対象貨物の貨物管理番号を入力
※20桁未満であること

入力者が取扱貨物が蔵置されている保税蔵置場のときは、入力の省略が可能です。

・貨物管理番号は、枝番を含めて20桁までの制限があります。
・仕分け前で、すでに20桁の貨物管理番号は枝番を付せられないので、仕分けを行うことが出来ません。
※その際の対応は、現貨物情報を税関に削除してもらい、改めて19桁以内のB/L番号でBIB(システム外搬入確認(輸入貨物))をしてから、SHS(貨物取扱登録(改装・仕分け))という手順になります。
※19桁以内のB/L付与について、どこを削るのか等は、あらかじめ税関にご相談ください。

SHS(貨物取扱登録(改装・仕分け))入力画面 <繰返部>

共通部 **繰返部**

1 / 20

01 仕分後個数 600 - BG 重量 6000.000 - KGM 容積

仕分後品名 VEGETABLE PRODUCTS

仕分後記号番号 NACCS IN DIA
MADE IN U. S. A.

仕分後危険貨物等

仕分後コンテナ番号

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50

仕分け後、貨物それぞれの情報を仕分け毎にページを移動して入力する。

繰返部に入力する記号番号が同一内容であれば、右クリックし「行コピー」→「行貼り付け」を行うと、簡単に入力できます。

コンテナ詰貨物の場合は、必須入力。
※コンテナ詰め輸出貨物の場合は、仕分けできる最小単位はコンテナ1本毎となります。

輸出入申請中または輸出許可後貨物を仕分けした場合、繰返部の先頭へ入力した貨物情報へ申告・許可情報は引き継がれます。

仕分け等業務可能な貨物について

	貨物種別		貨物状態			蔵置場		先行到着	分散蔵置	仕分け前後 数量 チェック
	輸入	輸出	コンテナのみ	バラのみ	混在	参加	不参加			
SHS	○	○	○	○	○	○	○ ^{※1}			
CHJ	通常	○	○			○				
	先行到着	○	○			○		○ ^{※2}		○
	分散蔵置	○	○	○		○			○ ^{※3}	

※1: 輸出許可等またはSAT(システム外保税運送到着確認)後の貨物に限る

※2: 保税運送貨物または検査搬出貨物に限る

※3: 同一保税地域運送貨物(保税運送貨物不可)に限る

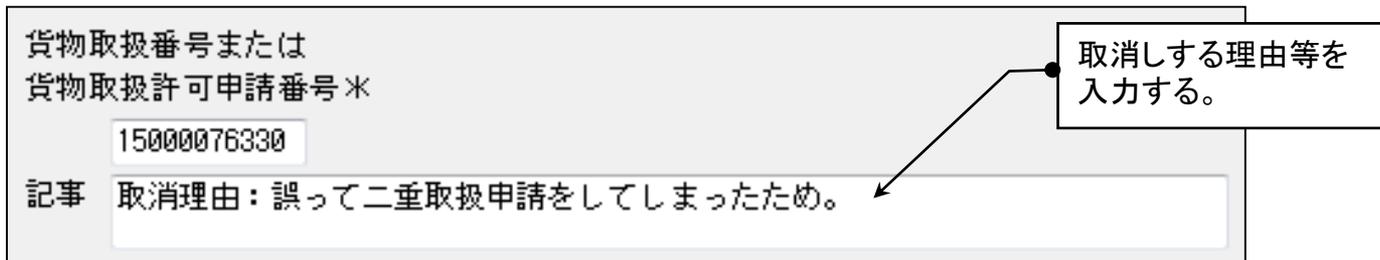
留意事項

	SHS	CHJ
①仕分けを行わない改装の可否 ※数量(合計)・荷姿は仕分け登録時に変更可能、ただし先行到着仕分けでは不可	改装のみ可能 仕分け兼改装可能	改装のみ不可 仕分け兼改装は可能
②管理資料(G05:貨物取扱一覧データ(SBS1700))の計上有無	計上あり	計上なし
③蔵置場でのCHI(貨物取扱確認登録)の登録可否	可能(任意)	不可
④登録後の取消業務 [※] ※登録日含む、日祝除く3日以内	SHC	CHJ(処理区分:1)
⑤取消後の枝番処理	枝番払出し後、取消し再度SHS・CHJを行うと、新たな枝番が付与される。 例: A100 → 仕分け → A100A → 取消し → A100 → 仕分け → A100C → A100B → A100D	

SHC業務は、以下の登録情報・許可等について取消しを行う業務です。

- ・SHN,SHSまたはCHU業務で登録された貨物取扱情報。
- ・CHD業務で登録された貨物取扱許可申請。これはあらかじめ税関に申出後に行います。

SHC(貨物情報取消)入力画面



貨物取扱番号または
貨物取扱許可申請番号*

15000076330

記事 取消理由：誤って二重取扱申請をしてしまったため。

取消する理由等を入力する。

<取消し可能期間等>

- ・SHN,SHSまたはCHU業務を行った日、CHD業務での貨物取扱許可後より3日以内。(登録・許可日含む。日祝除く。)
- ・CHI業務が行われた状態では取り消しできません。CHI業務を取り消し後に行います。
- ・CHD(貨物取扱許可申請)業務の許可後は、税関のみ実施可能です。(利用者では取消しできません。)

MHA(見本持出許可申請)入力画面

貨物管理番号*	SAKA1234567890											
申請官署	<input type="text"/>											
蔵置場所	<input type="text"/>											
持出期間開始日*	2012/02/20	開始日、終了日は下記の範囲内のみ入力可能 システム入力日 ≤ 持出期間開始年月日										
終了日*	2012/02/25											
持出先*	SHOKUHIN KENSAJYOU NO.1	NACCS掲示板の『個数単位(包装種類)』コード 表を参照										
個 数	10 - BG											
数 量*	100.000 - KGM	数量単位コード(総重量・総容積)表を参照 重量単位コード 容積単位コード コード 単位 単位 KGM キログラム MTQ 立方メートル TNE メトリックトン FTQ 立方フート LBR ポンド BFT フートボードメジャー										
品 目	<input type="text"/>											
見本品名*	VEGETABLE PRODUCTS											
価 格*	1000 - USD											
持出事由*	FOD	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">持出事由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>KNP</td> <td>荷主検品</td> </tr> <tr> <td>FOD</td> <td>他法令該当 (食品衛生法)</td> </tr> <tr> <td>LAW</td> <td>他法令該当 (食品衛生法以外)</td> </tr> <tr> <td>OTH</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table>	持出事由		KNP	荷主検品	FOD	他法令該当 (食品衛生法)	LAW	他法令該当 (食品衛生法以外)	OTH	その他
持出事由												
KNP	荷主検品											
FOD	他法令該当 (食品衛生法)											
LAW	他法令該当 (食品衛生法以外)											
OTH	その他											
記 事	検査のためサンプルとして回収。											

見本持出許可申請を行うと、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定されます。
 「簡易審査扱い」に選定された申請は、即時に許可となります。
 「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行う「見本持出許可申請審査終了(MHE)」業務により許可となります。

MHC業務は、MHA業務により登録された内容を取り消す業務です。

MHC(見本持出取消)入力画面

見本持出許可申請番号＊ 15000076550

MHA(見本持出許可申請)で付与された見本持出許可申請番号を入力する。



<MHC(見本持出取消)の申請者>

許可前
MHC
申請者

許可後
MHC
税関

MHA(見本持出許可申請)の許可前は申請者が、許可後は税関がMHC(見本持出取消)業務を行います。

- ・入力された見本持出許可申請番号に対する「見本持出確認登録(MHO)」業務が行われていると取り消しができなくなります。
- ・MHA業務の内容訂正業務はありませんので、内容訂正の場合は取り消し後に再度申請となります。

MHO(見本持出確認登録)入力画面

処理区分*	9	(9 : 一時持出 1 : 一時持出取消し)
見本持出許可申請番号*	15000076550	
一時持出日時	2012/02/20	- 14:00

MHOの取消しは、
1:一時持出取消しを入力

MHA(見本持ち出し許可申請)でシステムで
付与された見本持出許可申請番号を入力

持出年月日(西暦)は必須※
時間(24時間制)は任意

※下記のMHAによる持出許可期間範囲内
のみ入力可能
(持出期間開始年月日 ≤ 一時持出年月日 ≤
持出期間終了年月日)

取消しはMHO登録実施日含め2日(日・祝除く)
まで

保税地域等から一時持出しされた場合は、蔵置場所の倉主等は、本業務により速やかに一時持出しされた旨の登録を行います。
管理資料(G05:貨物取扱一覧データ)上に見本持出年月日が出力されていない場合は、持出期間終了日から7日間までにMHO業務を行う事で、次週の管理資料にて出力されます。

MHA業務による持出期間終了日の7日後(日・祝日除く)に見本持出情報が削除されるため、それ以降は、本業務が実施できなくなります。

参 考

■ ICG業務 貨物情報照会

- 個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。

貨物管理番号* 0000409351

指定情報

指定情報欄にコードを入力することにより、詳細情報を照会可能。
※入力がない場合、概要(SMR)情報が照会される。

(指定情報)	SMR : 概要情報	PRM : 保税運送申告等税関手続情報
	TTL : 全体情報	VAN : コンテナ貨物情報
	CON : 貨物状況情報	DPR : 船積情報
	SHP : 荷送受人情報	RSH : 積戻し貨物到着時情報
	ENT : 搬入予定情報	ARR : 船卸情報
	BND, XXXXX : 入出庫管理情報	DMG : 事故情報
	TRN : 搬出入情報	HAN : 搬入時申告情報
	DIT : 輸出入申告関連情報	FTM : フリータイム情報
	OLT : 保税運送関連情報	RPK : 船卸状況情報
	DCL : 輸出入許可情報	ACT : 請求情報

■ ICG 貨物情報照会 結果 (TTL: 全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号 指定情報
 次貨物管理番号 次指定情報

最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者	最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者
2012/02/20 - 18:38:58	CCL	1ACB7	2012/02/20 - 18:31:21	VAN	1AHB7
2012/02/20 - 18:37:31	CLR	1ACB7	2012/02/20 - 18:29:34	EDC	1ATB0
2012/02/20 - 18:34:23	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:25:44	BIC	1AHB7
2012/02/20 - 18:34:01	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:24:39	ECR	
2012/02/20 - 18:31:59	VAN	1AHB7	/ / - : :		

貨物状況 荷渡可能表示 貨物種別

積戻し貨物表示 積戻し輸出管理番号
 混載表示 混載親日/L番号
 仕分仕合表示 仕分親貨物管理番号
 荷受形態 荷渡形態 運送形態 搬入種別 通関種別 事故確認表示

品名
 記号番号

総個数 総重量 ネット重量
 原産地 最終仕向地

貨物情報登録者 船会社 船舶代理店 通関業
 危険貨物 ブッキング番号 社内整理番号
 船舶 - 航海番号

入港日 船卸港 船卸場所
 出港予定日 船積港 船積場所

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示されます。

- ・最新更新業務: 業務コードを表示
- ・最新更新利用者: 利用者コードを表示

貨物種別を表すコードが表示されます。

22=輸出貨物(積戻し貨物を含む)
23=輸入貨物 28=仮陸揚貨物

貨物状況を表すコードが表示されます。

BND: 未許可蔵置中
EXP: 輸出許可済(積戻し許可済を含む)
IMP: 輸入許可済(BP・蔵入承認含む)
TRN: 運送中
CCL: 船積み確認済み
END: 削除表示設定(システム外搬出、仕分仕合済、デバンニング済等)
SSP: 訂正保留中
MAN: 貨物手作業移行 など

通関種別を表すコードが表示されます。

N=一般通関 T=システム外許可済
H=本船扱い F=ふ中扱い
S=特定輸出申告、特定委託輸出申告
または特定製造貨物輸出申告

■ ICG 貨物情報照会 結果 (TTL: 全体情報下段)

荷送人 P005A555-0000 - NACCS SYOUJI CO.,LTD.

荷受人 - - NACCS U.S.A. CO.,LTD.

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置 個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日
-	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /

申告種別 申告番号 申告日 審査終了日 許可日

LE 13676245210 2012/02/20 2012/02/20 2012/02/20

税関手続種別 手続者 許可承認番号 申告申請日 許可承認日 到着

最新

その前

フリータイム日付 /

コンテナ数 2

コンテナ番号 状況 フリータイム

TTSU9876540 G / GMDU9876540 G /

輸出入申告が行われている場合に出力
※ 照会者が照会可能である場合のみ。

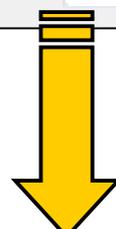
コンテナ貨物の場合にコンテナの状況を表すコードが表示されます。

A=船卸前 E=バンニング済み
B=船卸済み F=CY搬入済み
C=CY搬出済み G=船積み処理済み
D=デバンニング済み

■ ICN業務 コンテナ情報照会

- コンテナ単位にコンテナ情報を照会します。

コンテナ番号* TTSU9876540



■ ICN コンテナ情報照会 結果(上段)

コンテナ番号 TTSU9876540

次コンテナ番号*

最新更新日時 2012/02/20 - 18:38 最新更新業務 CCL 最新更新利用者 1ACB7

コンテナ状況 1 輸出入識別 22 船会社 SAKA コンテナオペレーション会社

空/実入 5 サイズ 42 タイプ GP 貨物数 1

荷渡形態 所有形態 バンニング形態 マニュアル輸出許可済識別

条約適用識別 1 卸コンテナ自動抽出対象外 搬出可能識別

船舶コード 9999 - NACCS MARU 航海番号 100 船卸港 -

積出港 JPTYO 入港年月日 / / 船卸予定日時 / - :

船卸年月日 / / 船積年月日 2012/02/20

蔵置場所 - - 搬入年月日 / / 搬入確認者

発送地 1HB07 - ZOUCHI-B07 搬出年月日 2012/02/20 搬出確認者 1HB07

コンテナの輸出入識別を出力
22:輸出 23:輸入 28:仮陸揚

コンテナ状況 1
空/実入 5

空/実入コンテナ識別を出力
4:空 5:実入

コンテナの現在の状態を、コードで表示されます。

1:削除表示	5:積荷目録提出後、船卸前
2:差止中	6:蔵置中
3:容器通関済(コンテナリスト提出)	7:運送中
4:積荷目録提出前	8:バンニング経由中

■ ICN コンテナ情報照会 結果(下段)

搬入先 1CB07 - CY-B07

経由地 [] - []

保税運送登録者 [] 包括保税運送承認番号 []

手続種別 LCN

 提出番号等 15000077620 手続年月日 2012/02/20 登録者 1ACB7 コンテナ管理者 []

パンニング	場所	地域名	年月日	情報登録者
1	1HB07	ZOUCHI-B07	2012/02/20	1AHB7
2	[]	[]	/	/
3	[]	[]	/	/
4	[]	[]	/	/
5	[]	[]	/	/

シール番号 1 100 2 [] 3 []

4 [] 5 [] 6 []

ブッキング番号 BOOKING1

事故届出者 []

事故 1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 事故確認状況表示

⏪ ⏩ | 1 /10 | ⏪ ⏩

01 貨物管理番号 []

品名 []

個数 [] - [] 許可・承認状況

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に、その税関手続種別コードを出力

DCN: 卸コンテナリスト提出

LCN: 積コンテナリスト提出

MCI: コンテナ輸入許可

OLC: コンテナ容器保税運送承認

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号を出力

■ 主な情報照会業務

■ 貨物在庫状況照会 (IWS)

- 保税地域単位に蔵置中の貨物またはコンテナの在庫状況を照会します。

■ 保税運送照会 (IOL)

- 保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送または特定保税運送の情報を照会します。

■ 輸入貨物搬入予定照会 (IBI)

- 保税運送承認済、包括保税運送承認に係る個別運送情報登録済または特定保税運送登録済の貨物の情報を、到着地単位に貨物管理番号の一覧として照会します。

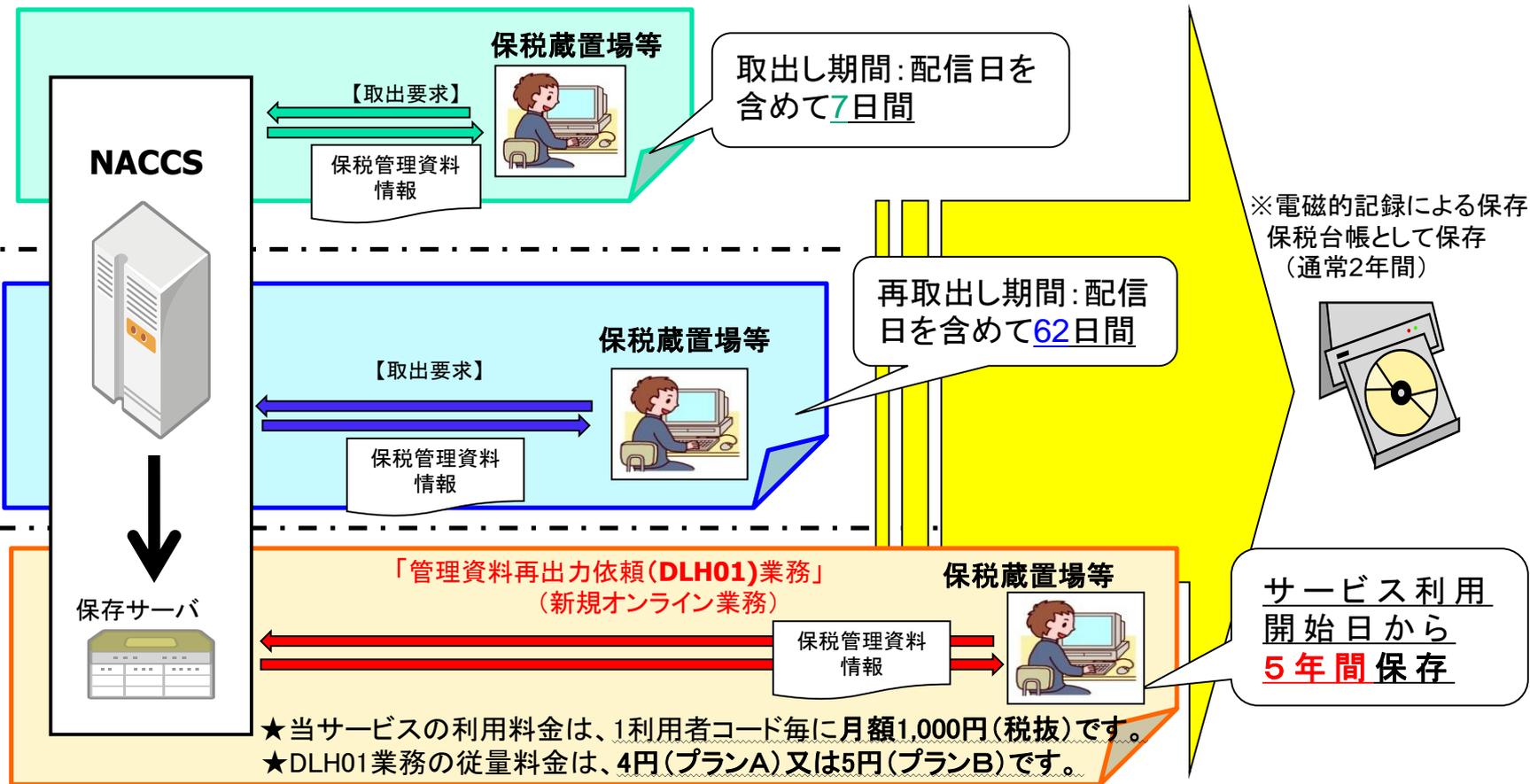
■ 輸出貨物搬入予定照会 (IEC)

- 「輸出貨物情報登録」業務が行われた貨物のうち、保税地域に搬入予定の貨物の情報を、保税地域単位かつ搬入予定日単位に輸出管理番号の一覧として照会します。

通常時

再取出し

保存サービス利用



☆保税台帳として利用可能な管理資料情報

- ① G01(81) 輸入貨物搬出入データ(週報/月曜配信)SBS1400
- ② G02(82) 輸出貨物搬出入データ(週報/火曜配信)SBT0200
- ③ G05(85) 貨物取扱等一覧データ(週報/火曜配信)SBS1700

※電磁的記録による保存を行う場合には、事前に管轄税関への届け出が必要となります。

NACCS

検索



NACCS 掲示板

NACCS 掲示板はこちらをご覧ください
<http://www.naccscenter.com/>

NACCSサポート

<NACCS 利用申込等
<https://nss.naccs.jp/log>

新着情報

